

～日本ケアマネジメント学会in釧路～



地域包括支援センター帯広市社会福祉協議会 梶 由美

先日、釧路で開催された日本ケアマネジメント学会に参加しての感想をお伝えしたいと思います。
「なぜ今医療との連携が求められるのか」で前沢先生より頂いた話のなかで札幌の医師の意見として、書類が多く会議が多く相談に載れない・時間や都合を考慮してほしいという意見もありましたが、多くは・外来の受診時に同行を希望・退院時きちんと問い合わせしてほしい・入院時介護の情報がほしい・意見書記入時に在宅の情報がほしい・MSWを活用してほしいなどなど決して敷居は高くないぞという印象でした。医師の都合を考慮しながらタイムリーに連携をとることの必要性を感じました。

「これからのケアマネージャーに求められる資質とは」のテーマで服部先生から介護保険の業界の現状をわかりやすく説明していただき、また要介護2から要支援2となって地域の支援を組み立て、行政に働きかけ動かした事例の紹介を頂いて自分もこのような援助をしたいと強く思いました。

最後になりましたが発表されました笠松副会長、渡辺研修部長、お世話頂いた役員の皆様本当にありがとうございました。



笠松副会長が十勝代表として報告しました！

渡辺研修部長から発表です！！



÷第1回学習会 地域包括支援センターとの連携÷



地域包括支援センター帯広愛仁園 東 哲慎

9月16日 グリーンプラザ大集会室にて行われた第一回学習会「地域包括支援センターとケアマネジャーとの連携～ケアマネジメント・支援の実践例を通して」に参加しました。地域包括支援センターと地域のケアマネジャーとの具体的な関わりについていくつかの事例を通して考える機会となりました。各包括からの事例の発表がありました。どの事例も本当に対応の難しいものばかりでしたが、共通して言えるのは、壁にぶちあたった時には決して独りで抱え込んではいけないということだなど

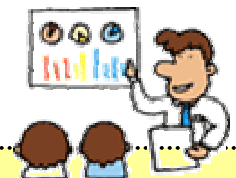
自分なりにしみじみ理解しました。そして、そのために包括があるのだなと一人静かに納得しました。(か言うわたしも包括の職員なのですが…)

包括の敷居は高くないことや、迷ったときは話を聞かせてほしいことなど、気軽に各地域包括支援センターに訪ねてほしいことが強調されていました。

さて、我が地域包括支援センター愛仁園からは毎月行われている事例検討会について話されました。

毎月、様々なケースについて話し合いが行われていますが、どなたでも検討したい事例を持って参加することができます。皆さんの来訪をお待ちしています。

私はケアマネ一年生であり見るもの聞くもの全てが勉強ですが、今回の学習会からもたくさんの事を学ばせていただきました。学んだことを少しでも実践できればと思っています。





自分流癒しのオフタイム

【恐竜の巻】

写真はイメージです

シグナル帯広居宅介護ステーション 及川 由希子

あっという間に12月、何だか月日が経つのがとても早く、机の上の書類が日々積み重なっていく気がしてなりません…。机の上をすっきりさっぱりさせて年始を気持ち良く迎えたいと思います。

趣味ということで…以前は買い物が大好きで(買うことで満足♪衝動買いです)特に靴バカ?と言われる程、色違いで購入!大人買いっていうやつですね。更に傷んだ頃には同じのないかも!と心配になり、後日もう一足買ったりおかしな行動をとっていましたが、結局履くのは決まったもので…。今はめっきり衝動買いもなくなり、冬でも夏でも同じ物を履いているので靴底は減るし冬は滑るし…でもどこまで履けるかなって頑張っていますが、さすがに利用者宅で脱いだ時に、これは…と思い最近、過去に購入した靴を引っ張り出して履き替えました…。

現在とは言いまして趣味にはならないとは思いますが、長男坊(3歳児)の恐竜ブームにお付き合いしまして、やれティラノサウルスだのプテラドンだの恐竜の勉強をしております。

長男はこれ名前何ていうの?と真剣ですが、次男はお付き合い?なのかガオガオ!言って恐竜のフィギアを握りしめています(笑)図鑑を見ていると面白いものですね…どれが本当の色なのか?とか想像したら気になっちゃって、ティラノサウルスの骨も世界で30体程見つかったようですが、完全なものは2~3体しかないようです。毛が生えていたなんて説も浮上しており…誰か本当の恐竜の姿を知っている人は私に教えて下さい!ちなみに、息子の恐竜ブームは次へ移行気味で戦隊ヒーローになりそうです。



息子ちゃん's コレクション!

【癒しのオフタイム原稿募集】

※これからも皆さまの「癒しのオフタイム」を紹介したいと思います。「私の僕の趣味や癒しの時間を紹介します!」という方は、総務部のメンバーまで、是非ご一報ください(T)

養護老人ホーム帯広信楽苑 西田 晃恵

ケアマネの輪・和・話

居宅介護支援事業所愛仁園 堀井 由美子

居宅介護支援事業所愛仁園に勤めてます、堀井と申します。利用者さんの御宅に訪問する中で自分自身の人生経験の少なさを痛感しております。その上、短気な小心者なので、物事の「終わり」が見えないとモチベーションの維持も難しくなってしまいます。「後ろを振り返る事が出来るようになれば、後は前に進むだけ」「対照実験は他の条件を同じくしないと出来ないから、比べるのは他人ではなく、昨日の自分」「こうなりたい」と目指している先輩達の言葉を言い聞かせ、発見の毎日です

次はあなたの番です、
よろしくお願いします!



ケアマネージャー

初めまして、養護老人ホーム帯広信楽苑で、ケアマネ兼生活相談員をしています、西田晃恵です。これまで、特養と居宅で9年間介護員・ケアマネを行い、現在信楽苑に勤めて2年が経過しました。

信楽苑は今年6月に新築移転をし、空港南町に引っ越してきたばかりです。去年までは旧施設ですきま風を感じながら働いていましたが、今はそのことが嘘のように思えてしまう、この快適さ。皆さんも近くにいられた際は、是非お立ち寄りください。

また移転後は、急激に見学者の方も増えており、日々施設内の案内を行なっています。在宅で生活をされている方が将来に備えて見学をされたり、新しい建物だから気になってプラッと寄ってみました等々…、様々な目的で来苑されています。お話を伺うたびに、以前居宅で働いていたことを思い出しています。

見学大歓迎!!!

是非担当している利用者様で、養護老人ホームに入所できたらなあ…とと思っている居宅ケアマネの皆様、信楽苑までお電話を。隅から隅まで案内したいと思っています♪

最後に、まだまだケアマネとして経験不足なので、皆様のご指導をいただきながら、これからたくさんのごことを学んでいきたいと思っています。今後とも、宜しくお願いします。